
2022年3月期第2四半期 決算説明会資料

～計数の概要について～

2021年12月2日

稲畑産業株式会社

代表取締役専務執行役員

横田 健一

＜第2四半期累計としては、売上・利益共に過去最高を更新＞

売上高： **3,285億円** 前年同四半期は2,671億円

新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みから回復し、増収

営業利益： **110億円** 対前年同期比 **+78.3%**

売上高の増加や売上総利益率の上昇により、増益

経常利益： **120億円** 対前年同期比 **+73.3%**

営業利益の増加により、増益

親会社株主に帰属する
四半期純利益： **135億円** 対前年同期比 **+131.0%**

経常利益の増加や投資有価証券売却益の計上等により、増益

2022年3月期第2四半期 連結決算総括

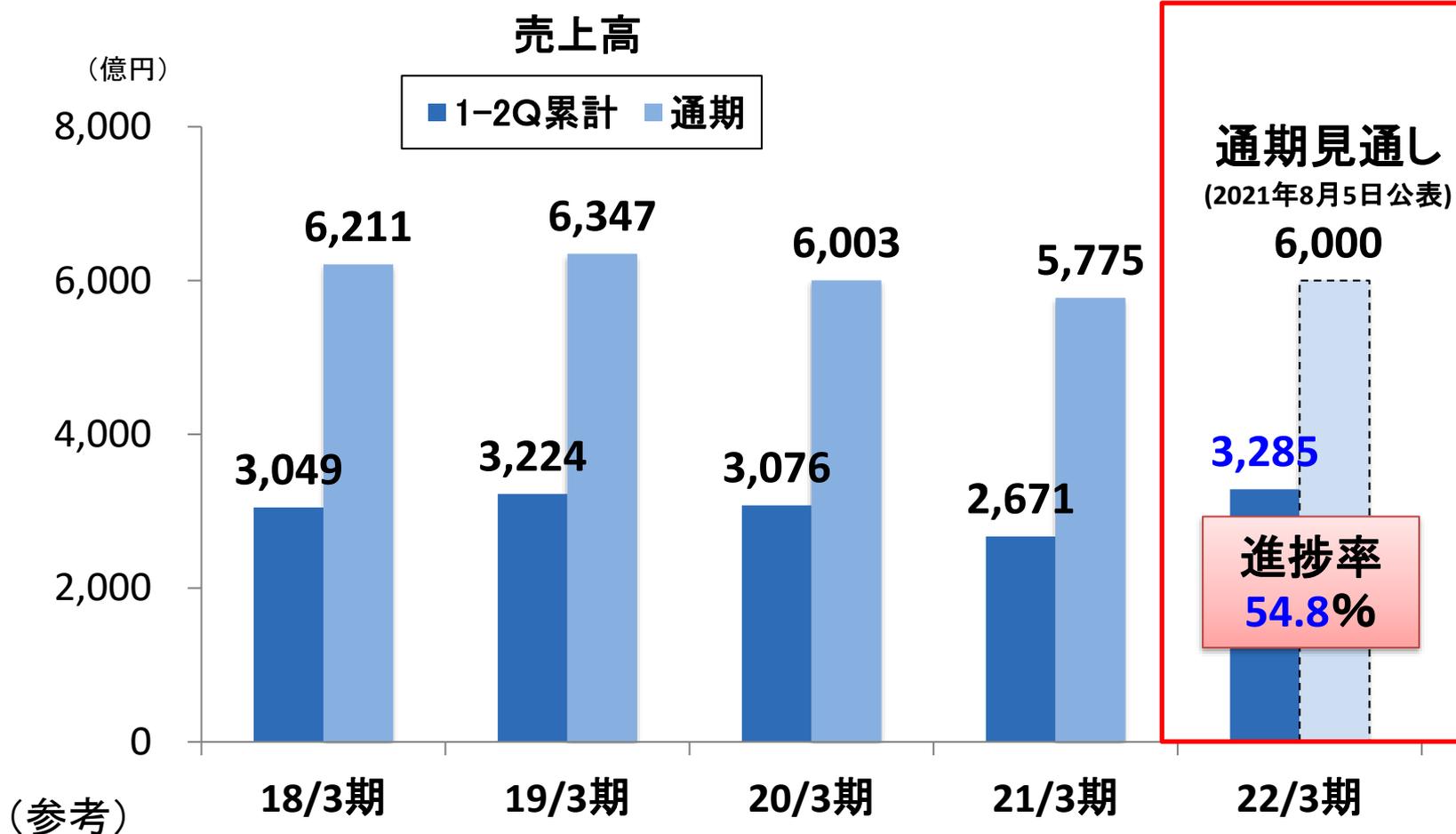


(億円)

	21/3期 第2四半期	22/3期 第2四半期 (A)	対前年同期比増減		2021年8月5日 公表 通期見通し (B)	達成率 (A)/(B)
			金額	%		
売上高	2,671	3,285	+613	-	6,000	54.8%
営業利益	62	110	+48	+78.3%	160	69.2%
経常利益	69	120	+50	+73.3%	170	70.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	58	135	+76	+131.0%	160	84.5%
為替レート USD/円	106.93	109.81	+2.88		110.00	

※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、同会計基準の適用により、売上高は119億円減少しています。

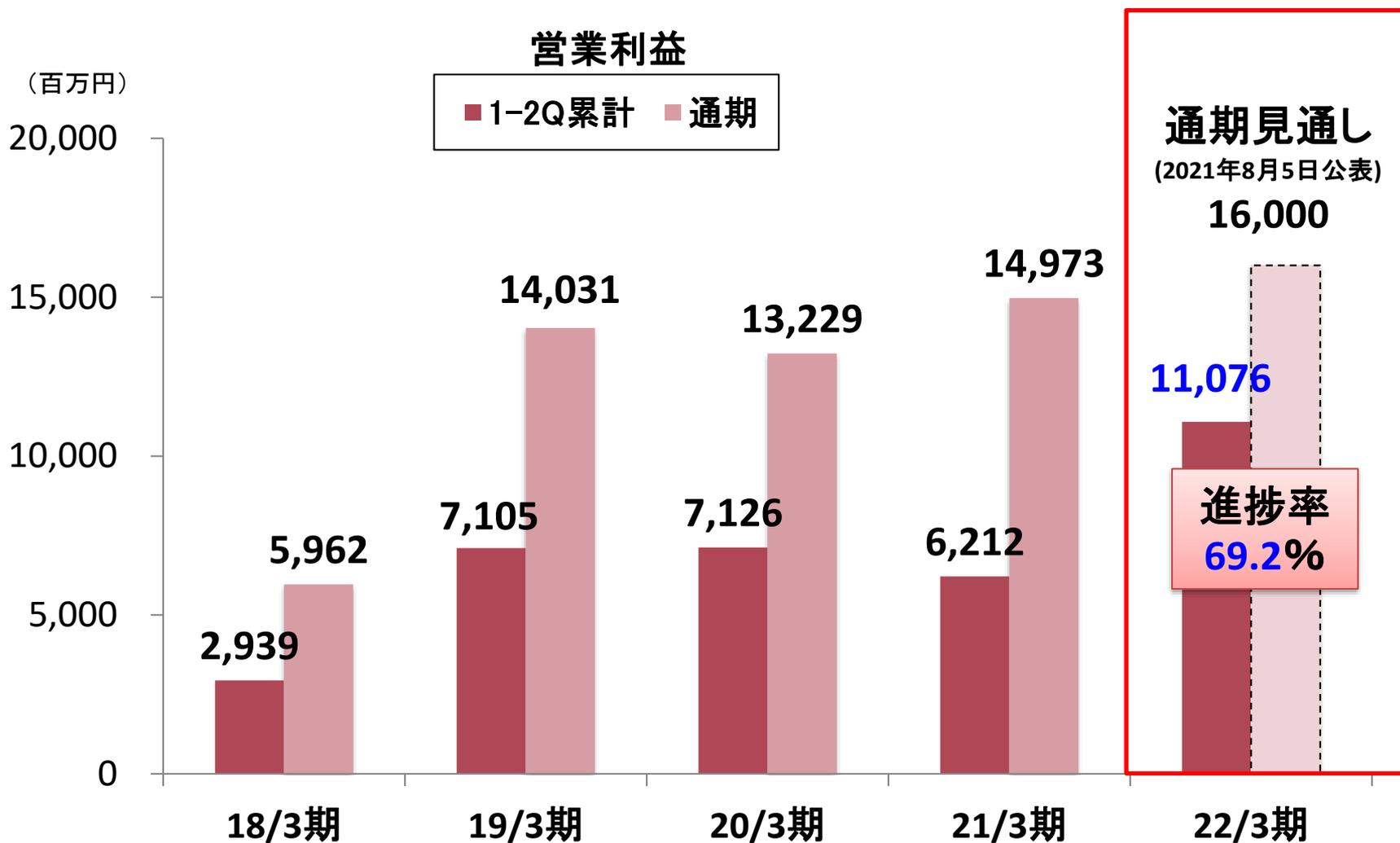
売上高の推移



	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
1-2Q累計	111.04	110.26	108.60	106.93	109.81
通期	110.85	110.92	108.70	106.10	注110.00

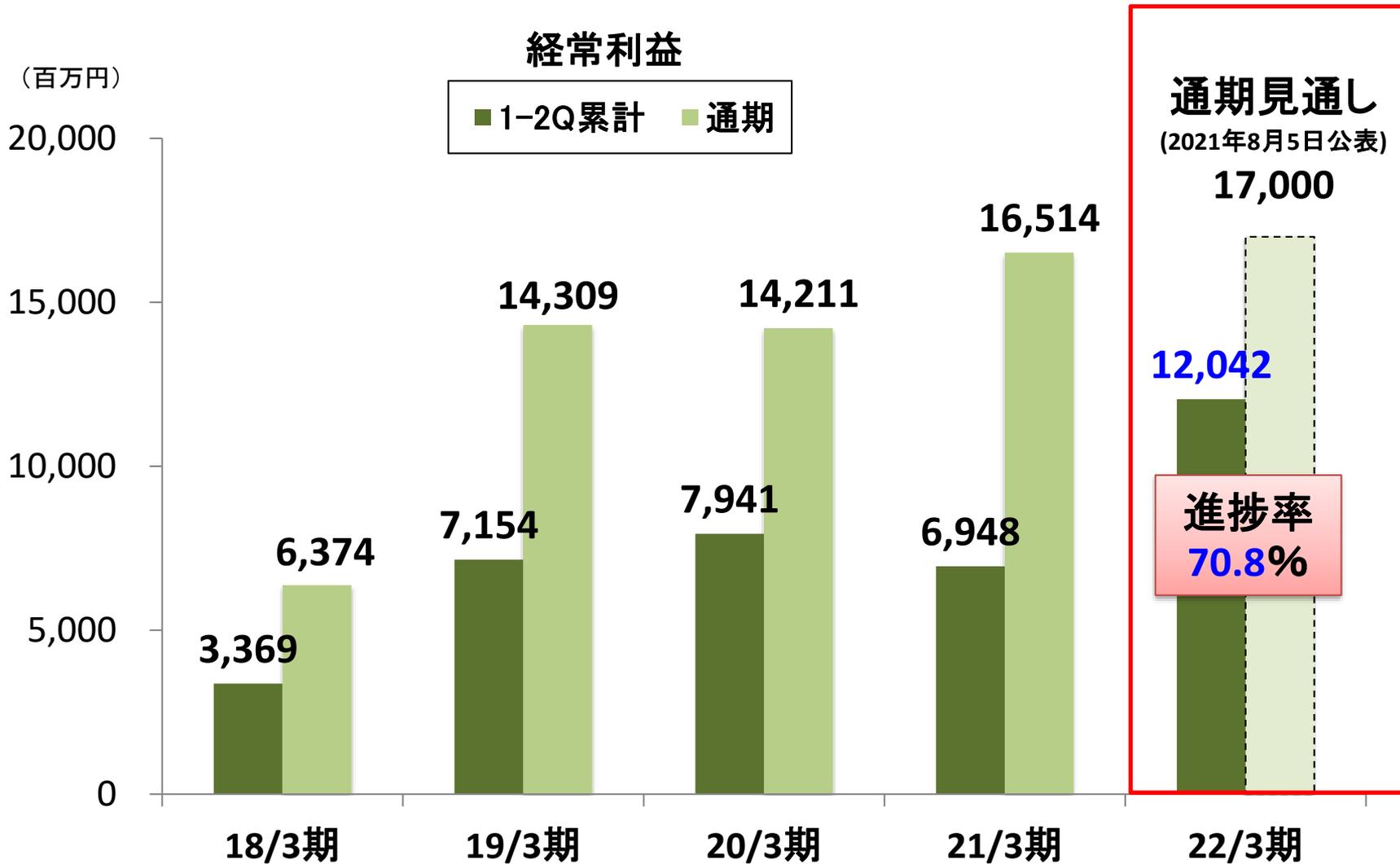
※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、同会計基準の適用により、売上高は119億円減少しています。

営業利益の推移

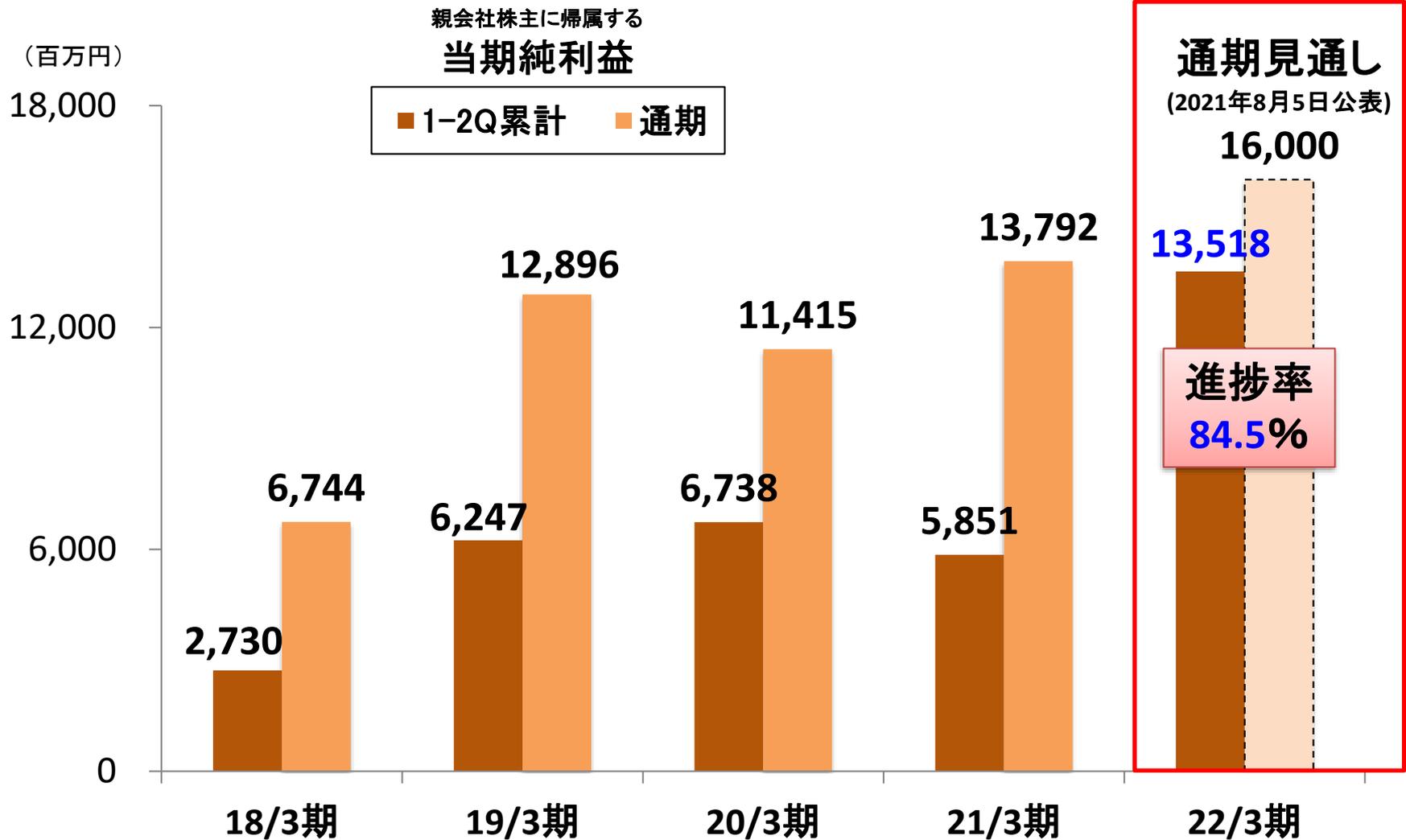


※18/3期 欧州子会社において貸倒引当金を計上 1-2Q 33.8億円、通期 66.5億円
※21/3期 欧州子会社において貸倒引当金の戻入を計上 通期 7.5億円

経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



B/Sサマリー

- ・ビジネスの回復により、売上債権と棚卸資産が増加
- ・ビジネスの回復による利益剰余金の増加により、株主資本が増加

(億円)

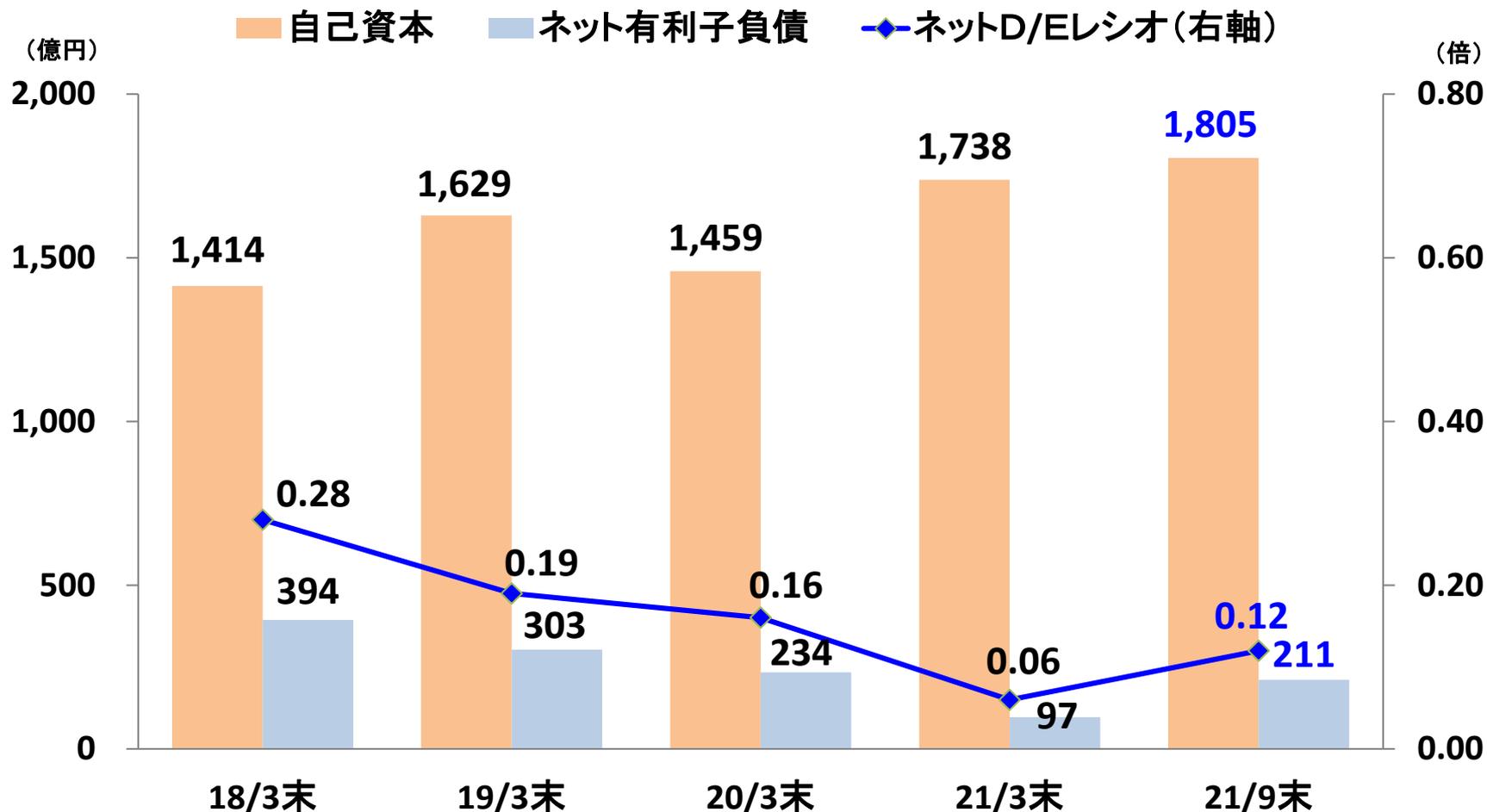
(資産)	21/3末	21/9末	増減
現金及び預金	314	337	+22
受取手形及び売掛金	1,627	1,702	+75
棚卸資産	541	717	+175
その他流動資産	86	104	+17
有形固定資産	143	145	+1
無形固定資産	29	26	△2
投資有価証券	715	650	△65
その他固定資産	73	74	+1
資産合計	3,532	3,758	+226

(負債/純資産)	21/3末	21/9末	増減
支払手形及び買掛金	1,041	1,038	△2
短期借入金	337	476	+139
その他流動負債	127	177	+50
長期借入金	74	72	△1
その他固定負債	193	167	△26
株主資本	1,291	1,400	+108
その他の包括利益累計額	446	405	△40
非支配株主持分	19	19	△0
負債純資産合計	3,532	3,758	+226

流動比率	170.6%	169.0%	
------	--------	--------	--

自己資本比率	49.2%	48.0%	
--------	-------	-------	--

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



※ 自己資本＝純資産－新株予約権－非支配株主持分
ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現預金)/自己資本

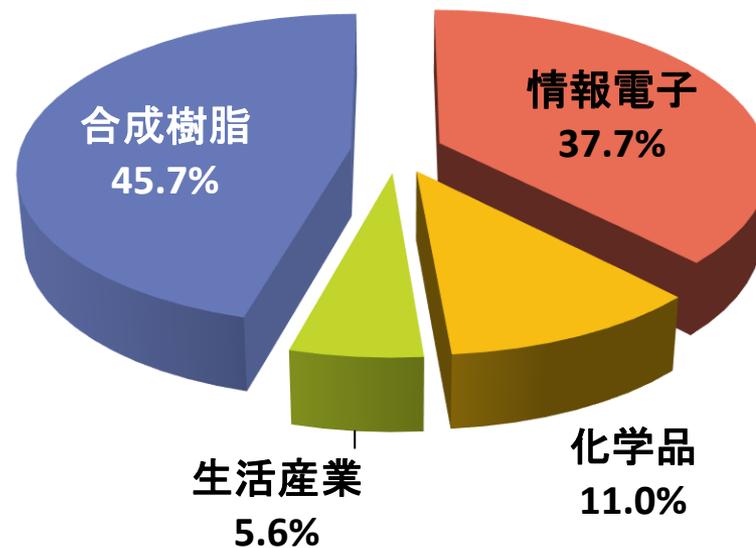
事業セグメント別 売上高

- ✓情報電子事業は、主要商材の販売が増加
- ✓合成樹脂事業は、新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みからの回復や、樹脂価格の上昇により増収

売上高

(億円)

	21/3期 1-2Q累計	22/3期 1-2Q累計
情報電子	1,063	1,238 (1,303)
化学品	307	360 (388)
生活産業	167	183 (197)
合成樹脂	1,132	1,502 (1,515)
その他	0	0
合計	2,671	3,285 (3,405)



(億円)

	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	その他	合計
日本	491	255	123	487	-	1,358
東南アジア	85	50	0	630	-	766
北東アジア	591	32	3	319	-	946
米州	39	10	47	58	-	155
欧州	30	12	8	7	-	58
顧客との契約から生じる収益	1,238	360	183	1,502	-	3,284
その他の収益	-	-	-	-	0	0
外部顧客への売上高	1,238	360	183	1,502	0	3,285

※顧客との契約から生じる収益は、販売元の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

事業セグメント別 売上総利益・営業利益



- 前年同期の感染拡大による落ち込みから売上が回復し、売上総利益率が上昇
- ✓合成樹脂事業や化学品事業は、自動車分野の原料販売が伸長し増益
 - ✓生活産業事業は、回転寿司向け加工品や、米国ではシーフード商品の販売が好調

売上総利益

(百万円)

	21/3期	22/3期	前年同期比 増減率
	1-2Q累計	1-2Q累計	
情報電子	6,875	8,780	+27.7%
化学品	2,404	3,257	+35.5%
生活産業	2,213	3,321	+50.1%
合成樹脂	9,177	12,963	+41.3%
その他	64	66	+1.7%
合計	20,735	28,390	+36.9%

営業利益

(百万円)

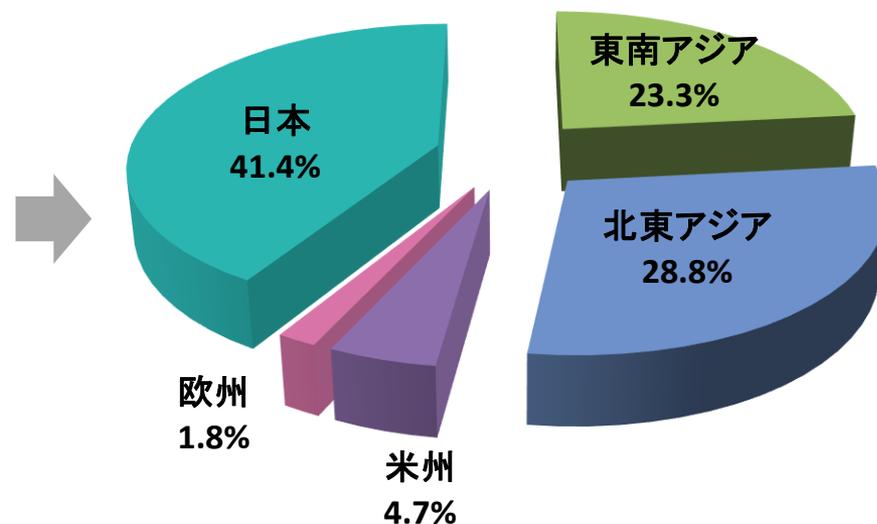
	21/3期	22/3期	前年同期比 増減率
	1-2Q累計	1-2Q累計	
情報電子	3,331	3,738	+12.2%
化学品	416	1,042	+150.2%
生活産業	537	1,367	+154.2%
合成樹脂	1,861	4,860	+161.2%
その他	64	66	+1.7%
合計	6,212	11,076	+78.3%

地域別 売上高

売上高

(億円)

	21/3期	22/3期
	1-2Q累計	1-2Q累計
東南アジア	529	766
北東アジア	759	946
米州	86	155
欧州	40	58
日本	1,255	1,358 (1,478)
合計	2,671	3,285 (3,405)
海外比率	53.0%	58.6%



※「日本」区分には日本から海外への輸出を含む(22/3期1-2Qは267億円)
 これらを含む海外向け売上比率は (21/3期 1-2Q) 61.3% → (22/3期 1-2Q) 64.2%

※ 22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。()内の数字は、同会計基準を適用する前の金額(参考値)です。

地域別 営業利益

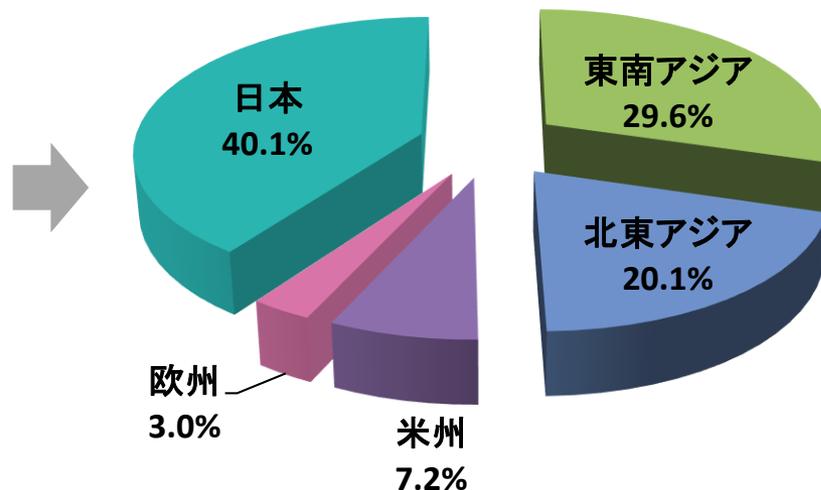
- ✓ 東南アジア
- ✓ 米州

前年同期のロックダウンによる落ち込みから回復
 需要の急回復により、シーフード商品の販売が好調

営業利益

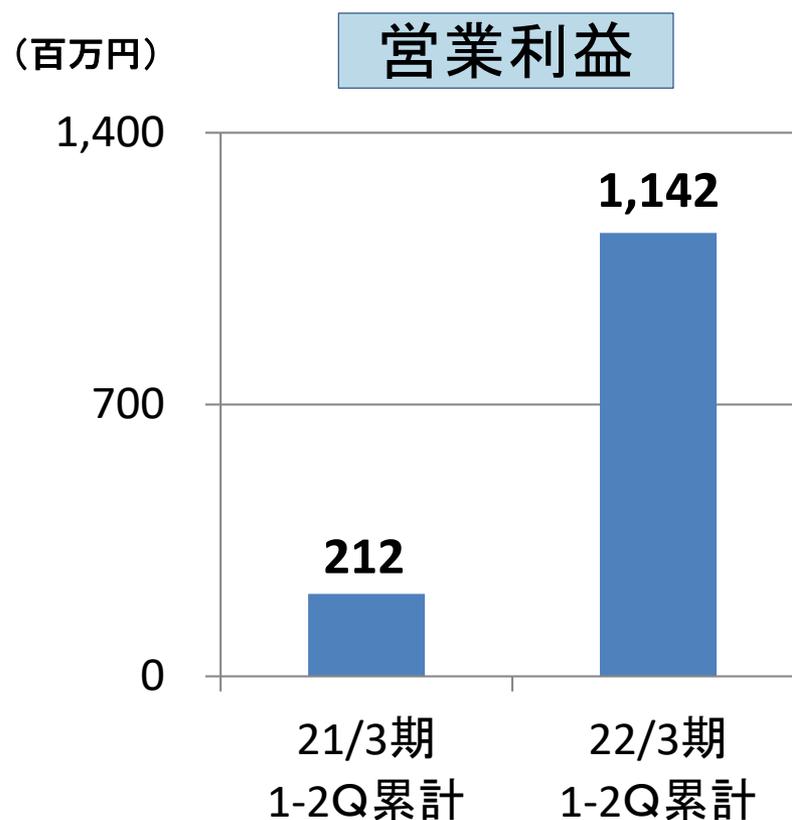
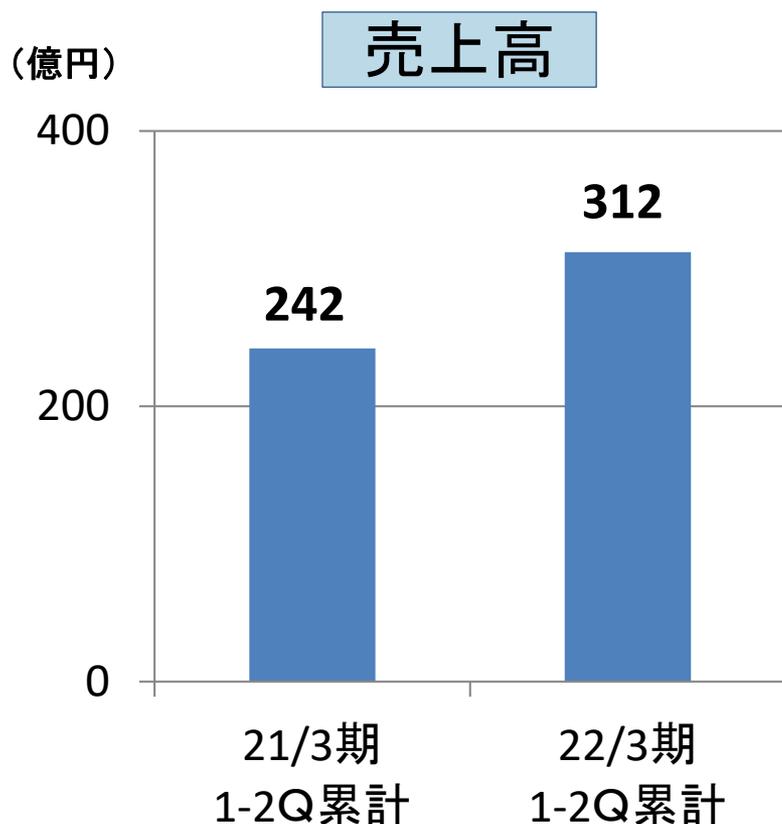
(百万円)

	21/3期 1-2Q累計	22/3期 1-2Q累計	前期比 増減率
東南アジア	950	3,288	+245.9%
北東アジア	1,434	2,229	+55.4%
米州	95	802	+742.3%
欧州	798	334	△58.1%
日本	2,728	4,445	+62.9%
小計	6,006	11,100	+84.8%
消去又は全社	205	△23	
合計	6,212	11,076	+78.3%
(海外比率)	(54.6%)	(60.0%)	(+5.4%)



製造業 売上高・営業利益

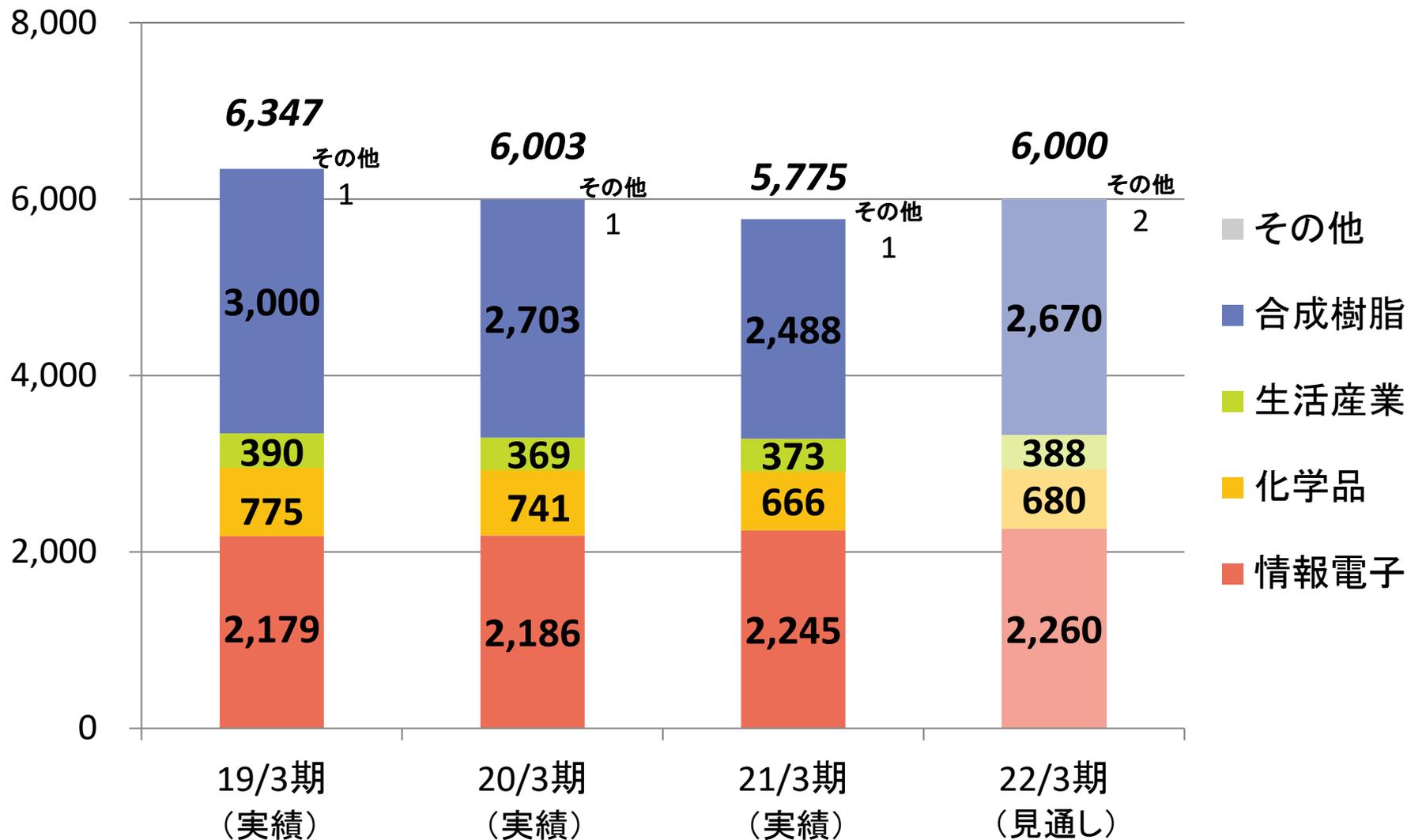
主に東南アジアのコンパウンド製造工場が、前年同期のロックダウンの影響より回復



(注) 21/3期1-2Q累計の実績値は、22/3期1-2Q累計決算レート(1USD=109.81円)に置換えしております。

事業セグメント別 売上高

(億円)

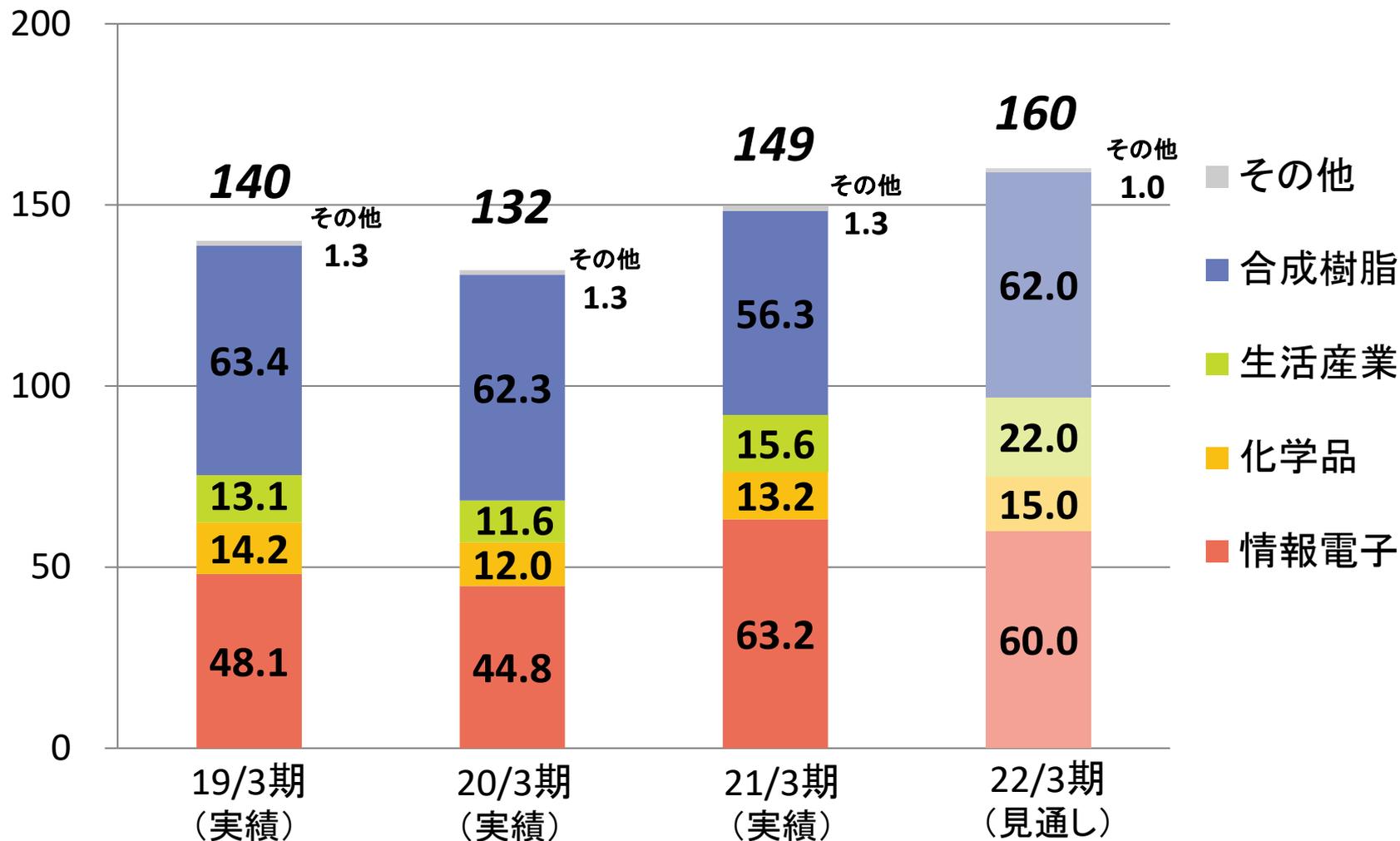


※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

※22/3期(見通し)は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用後の売上高を表示しています。Copyright © INABATA & CO., LTD. 2021

事業セグメント別 営業利益

(億円)



※21/3期 貸倒引当金の戻入を計上 情報電子 7.5億円

※22/3期通期見通しを上方修正 145億円(2021年5月11日公表見通し)→160億円(2021年8月5日修正見通し)

※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

連結子会社等の状況

	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	7	37	44
（内 製造・加工業）	（5）	（17）	（22）
持分法適用関連会社	4	1	5
（内 製造・加工業）	（2）	（1）	（3）
合計	11	38	49
（内 製造・加工業）	（7）	（18）	（25）

主な連結子会社の状況

(百万円)

会社名	所在地	21/3期 1-2Q累計			22/3期 1-2Q累計			前期比増減率		
		売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益
Taiwan Inabata Sangyo Co.,Ltd.	台湾	19,257	416	296	18,234	454	345	△5.3%	+9.2%	+16.9%
Inabata Sangyo (H.K.) Ltd.	香港	30,271	461	469	39,327	709	903	+29.9%	+53.9%	+92.5%
Inabata Singapore (Pte.) Ltd.	シンガポール	20,255	320	485	32,727	628	789	+61.6%	+96.1%	+62.6%
Inabata Thai Co.,Ltd.	タイ	14,496	91	112	23,064	537	471	59.1%	+493.3%	+322.0%
Shanghai Inabata Trading Co.,Ltd.	上海	30,853	469	358	37,700	763	601	+22.2%	+62.7%	+68.1%
PT.Inabata Indonesia	インドネシア	7,313	154	95	13,492	560	443	+84.5%	+264.1%	+365.0%
稲畑ファインテック	日本	8,551	235	155	9,790	328	221	+14.5%	+39.6%	+42.2%

(注) 21/3期1-2Q累計の実績値は、22/3期1-2Q累計決算レート(1USD= 109.81円)に置換えしております。

(参考) 自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定

(億円)
2,000

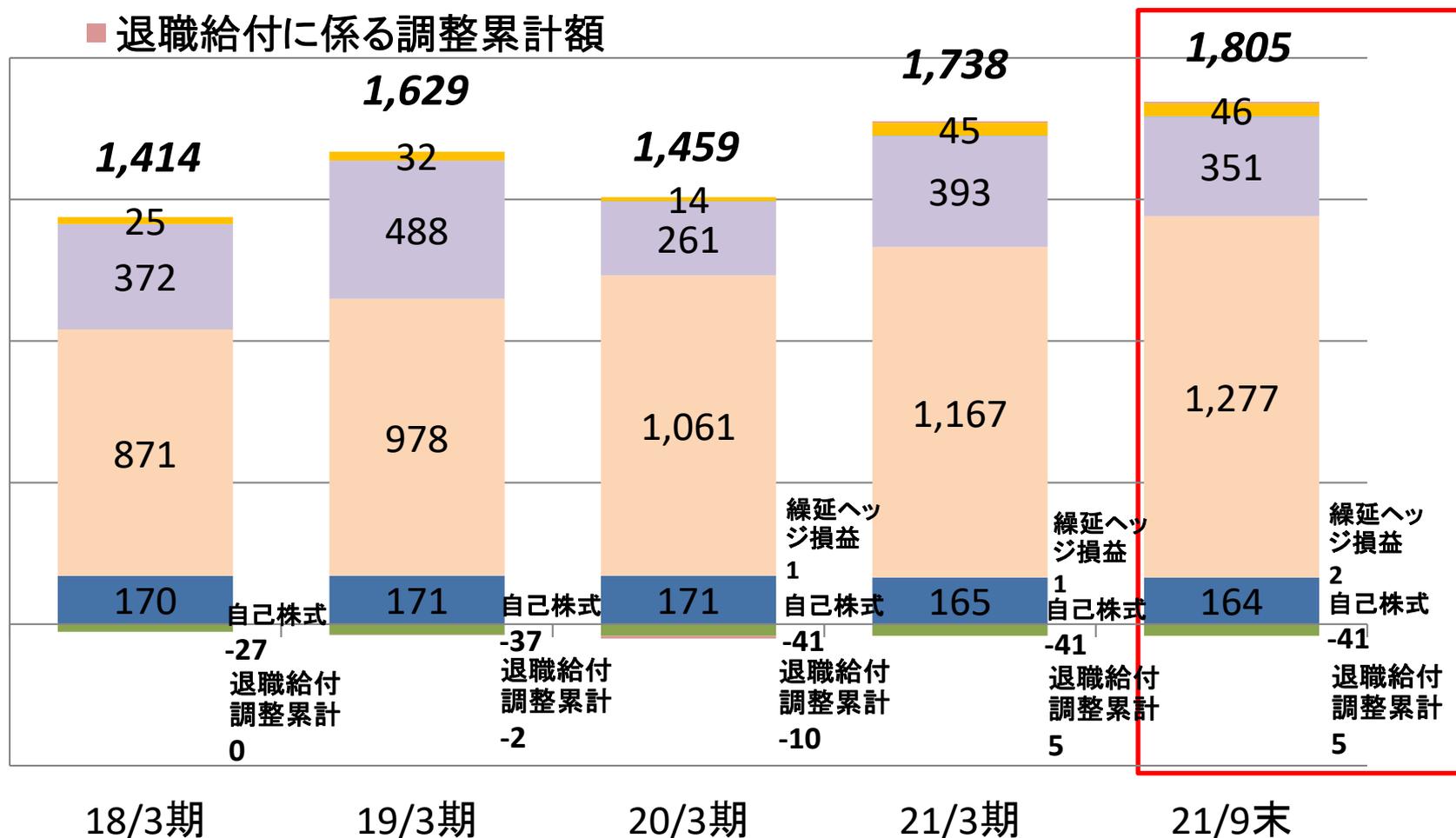
1,500

1,000

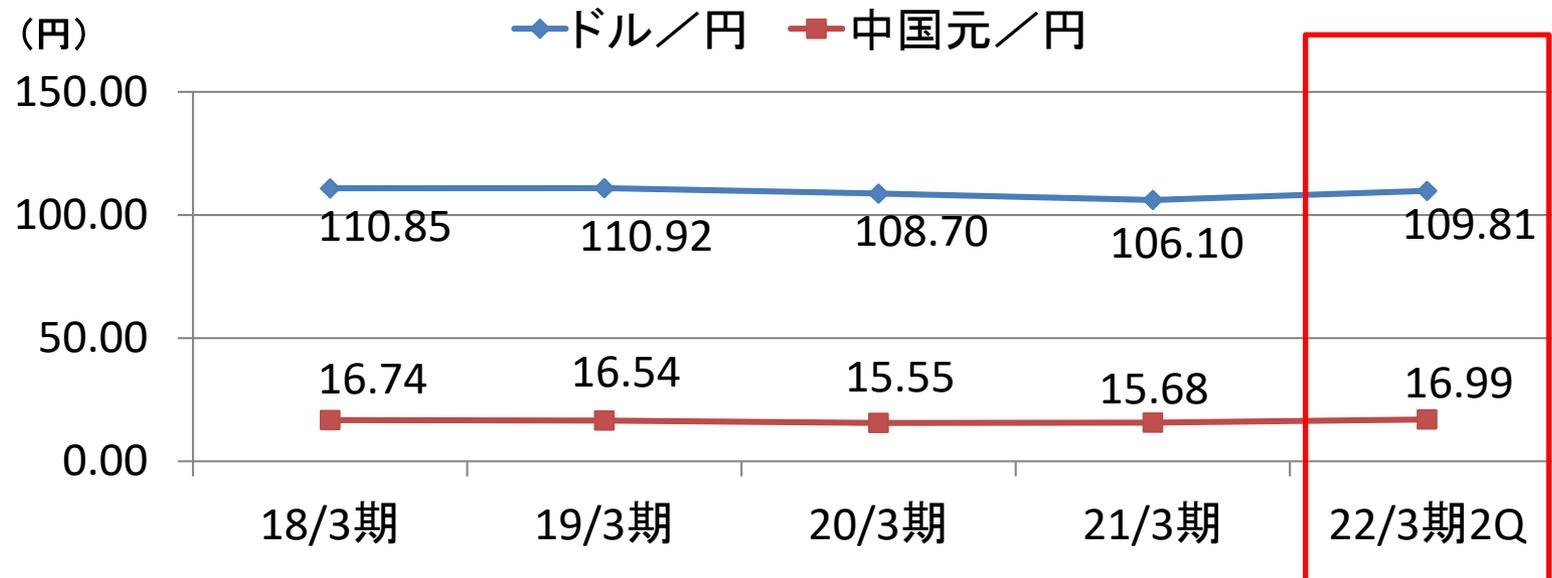
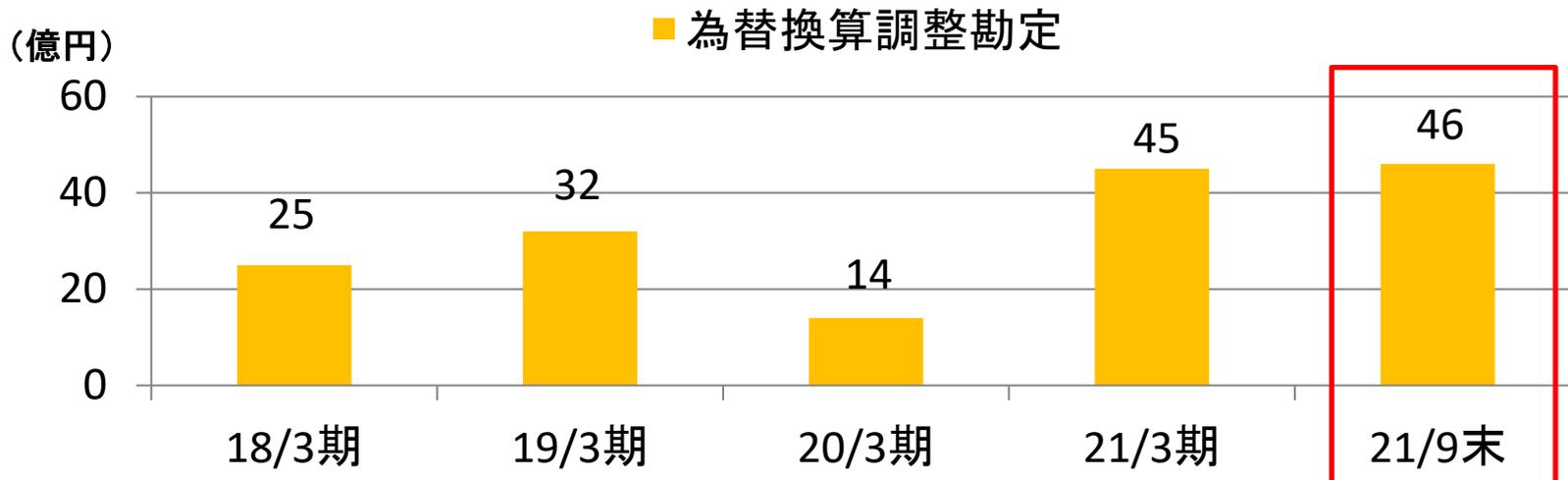
500

0

-500



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。